

# 岩手県感染症週報

平成23年第33週(8月15日～8月21日)

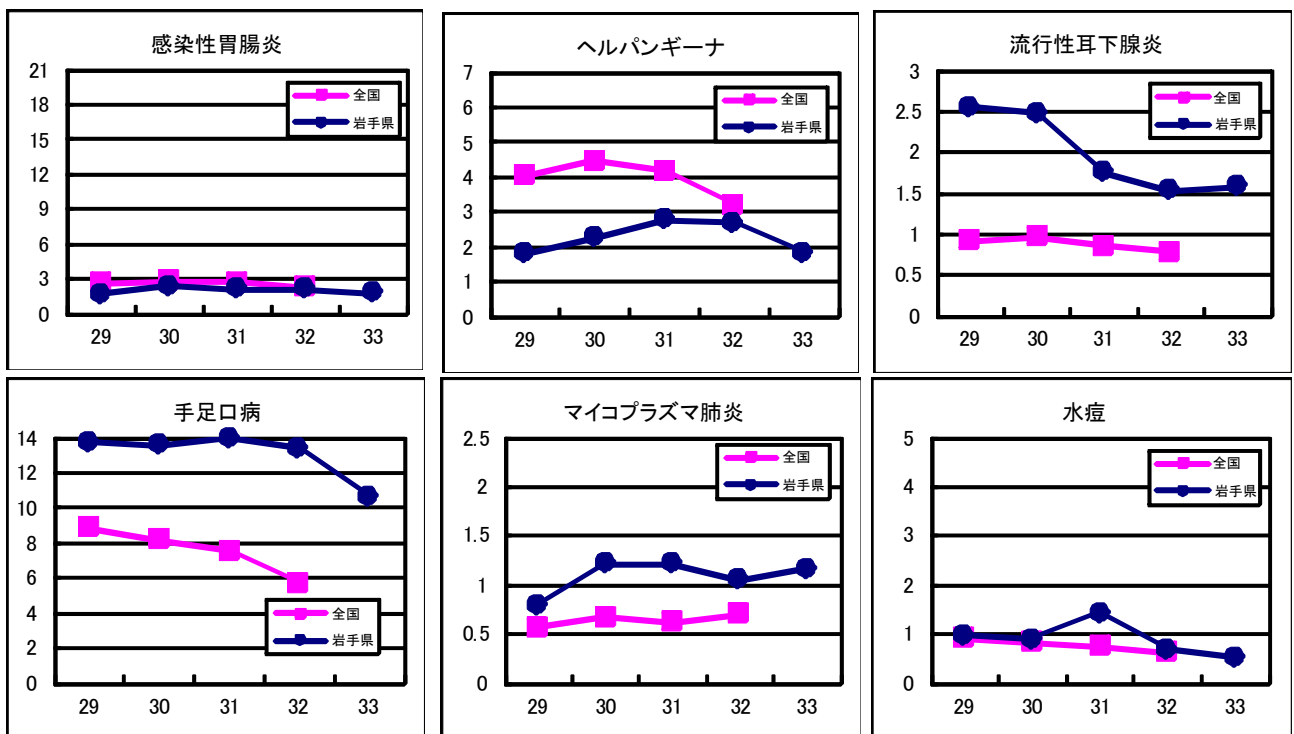
岩手県感染症情報センター

## 第33週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の患者の報告が7例ありました。
- 3 類感染症
  - ・腸管出血性大腸菌感染症は、7例の報告がありました。内訳は大腸菌0157が3例、026が4例です。合併症として溶血性尿毒症症候群があり、血便出現時は早期入院治療が必要です。予防には、食品の衛生的取扱いとともに、流水と石鹸を用いた手洗いの励行が重要です。
- 4 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
  - ・麻疹は、一関地区より1例の報告がありました。県内では今年2例目の報告です。予防には、ワクチン接種が有効です。定期接種対象者(1歳児、年度内に6歳、13歳、18歳になる方)は、早めの接種を。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
  - ・震災の影響で、大船渡地区の一部定点医療機関からは情報が入っていません。
  - ・手足口病は、定点あたり患者数が7週連続で警報値(5人)を超えました。前週より減少しましたが、依然、県内ほぼ全域で流行が続いています。本疾患は、夏季に乳幼児を中心に流行するウイルス性疾患です。通常数日で回復しますが、まれに髄膜炎になることがあるため、頭痛、嘔吐を併発した場合は、早期の受診が必要です。

## 最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		29	30	31	32	33		
インフルエンザ	岩手県	0.03	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.02			
RSウイルス感染症	岩手県	0.03	0.1	0.1	0.03	0.15	→	☆
	全国	0.16	0.22	0.26	0.28			
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0.2	0.05	0.05	0.15	→	☆
	全国	0.73	0.63	0.52	0.45			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.5	0.33	0.48	0.5	0.33	→	☆
	全国	0.87	0.85	0.74	0.59			
感染性胃腸炎	岩手県	1.7	2.38	2.13	2.08	1.73	→	☆
	全国	2.65	2.8	2.74	2.24			
水痘	岩手県	0.98	0.9	1.43	0.68	0.53	→	☆
	全国	0.92	0.82	0.75	0.62			
手足口病	岩手県	13.75	13.58	14	13.4	10.65	→	☆☆☆
	全国	8.89	8.19	7.56	5.7			
伝染性紅斑	岩手県	0.05	0.2	0.25	0.28	0.28	→	☆
	全国	0.45	0.61	0.61	0.44			
突発性発疹	岩手県	0.33	0.58	0.48	0.38	0.58	→	☆
	全国	0.61	0.67	0.68	0.6			
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.04	0.03	0.03			
ヘルパンギーナ	岩手県	1.8	2.25	2.78	2.68	1.83	→	☆☆
	全国	4.03	4.45	4.17	3.21			
流行性耳下腺炎	岩手県	2.55	2.48	1.75	1.53	1.58	→	☆
	全国	0.92	0.96	0.86	0.78			
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.5	0.41	0.27	0.27			
流行性角結膜炎	岩手県	0.21	0.21	0.21	0.36	0.64	→	☆
	全国	0.7	0.78	0.68	0.65			
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02			
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.05	0.08	0.05	0.05			
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.79	1.21	1.21	1.05	1.16	→	☆☆
	全国	0.57	0.67	0.62	0.7			
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.03	0.04			

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)		岩手県						全国	
疾病名	(週)	岩手県					全国		
	29	30	31	32	33	累計	32	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	結核	4	5	3	14	7	120	348	18260
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	1	5
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	4	122
	腸管出血性大腸菌感染症	3	15	14	20	7	87	200	2342
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	14
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	17
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	39
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	3	1	141
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	12
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	11
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	5
	つつが虫病	0	0	0	0	0	8	2	160
	デング熱	0	1	0	0	0	1	1	56
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	56
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	2
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	マラリア	0	0	0	0	0	0	3	43
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	5	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	1	1	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	8	5	427	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	1	6	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

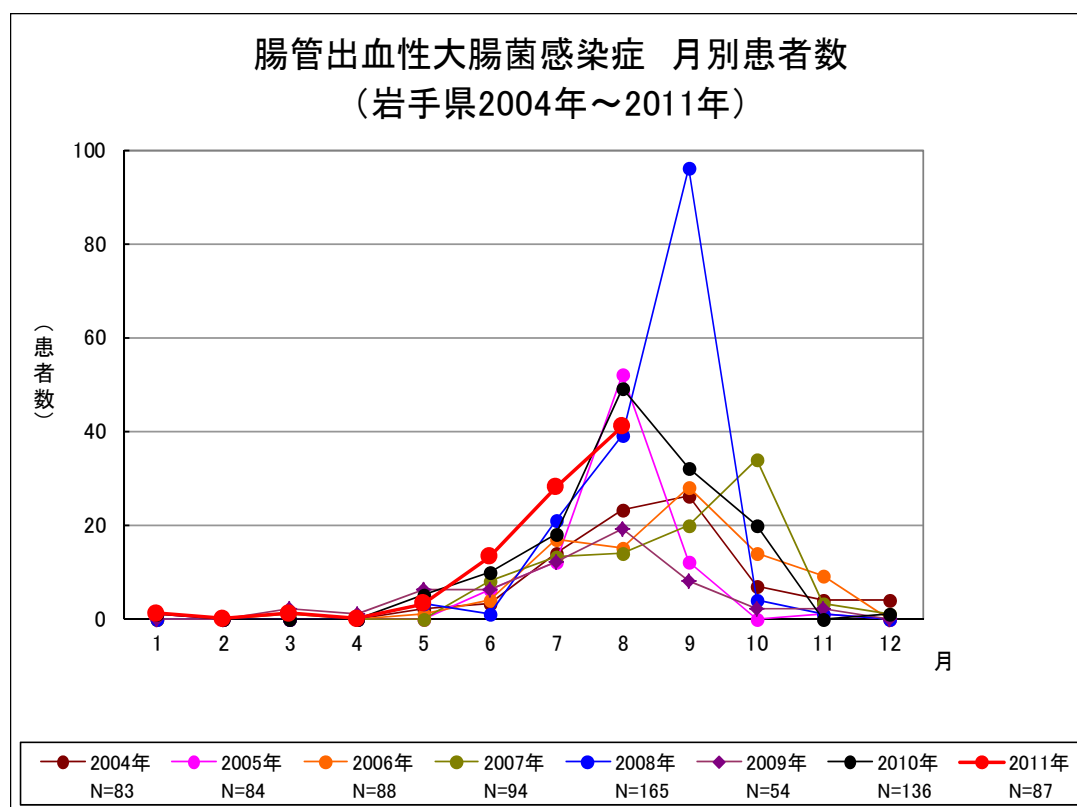
分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 29	30	31	32	33	累計 32	累計	
五類感染症	アメーバ赤痢	1	1	0	0	0	7	13	487
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	1	159
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	2	2	188
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	2	75
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	1	146
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	2	8	868
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	42
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	7
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	梅毒	0	0	0	0	0	0	7	459
	破傷風	0	0	0	0	0	2	0	69
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	32
	風しん	0	0	0	0	0	1	4	285
	麻しん	0	0	0	0	1	2	7	391

今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、第33週には7例の報告がありました。本年はこれまでに計87例が報告されています。性別では男性が46例、女性が41例であり、年齢層別では0～9歳が50例、10～19歳が3例、20～29歳が11例、30～39歳が7例、40～49歳が2例、50～59歳が8例、60歳以上が6例となっています。分離された大腸菌の血清群別では、0157が14例、026が59例、0111が3例、0121が2例、0103が8例となっています。

毎年、夏季に患者の報告が多いので、食品の保存などの取り扱いには充分注意して食中毒対策を徹底するとともに、二次感染を予防するために手洗いの励行が重要です。



今注目の感染症 (つづき)

被災地で注意すべき感染症

平成23年3月11日の震災から5ヶ月以上が経過し、県内の避難所も縮小へと向かっています。本年は沿岸部においても気温が30℃を超える日が続く、被災地における健康管理は今後も難しい状況が続くと考えられます。本稿では国立感染症研究所が作成した「被災地・避難所における感染症リスクアセスメント」等を参考に、被災地で注意すべき感染症について紹介します。

○食中毒・感染性胃腸炎

気温の上昇とともに、腸管出血性大腸菌、赤痢菌、サルモネラ、カンピロバクターなどの細菌による食中毒や胃腸炎の発生が多くなります。予防には、トイレ使用後や食事前の流水と石けんを用いた手洗いの励行が重要です。水が使用できない場合にはアルコール手指消毒剤が有効です。また、提供された弁当等の食事は、なるべくすぐに食べていただき、取り置きをできるだけ避け、時間が経ったものは処分することが重要です。吐き気やおう吐、下痢等の症状がある方は、配膳や炊き出しといった食品を取り扱う作業を避けるようにしてください。

○麻しん (はしか)

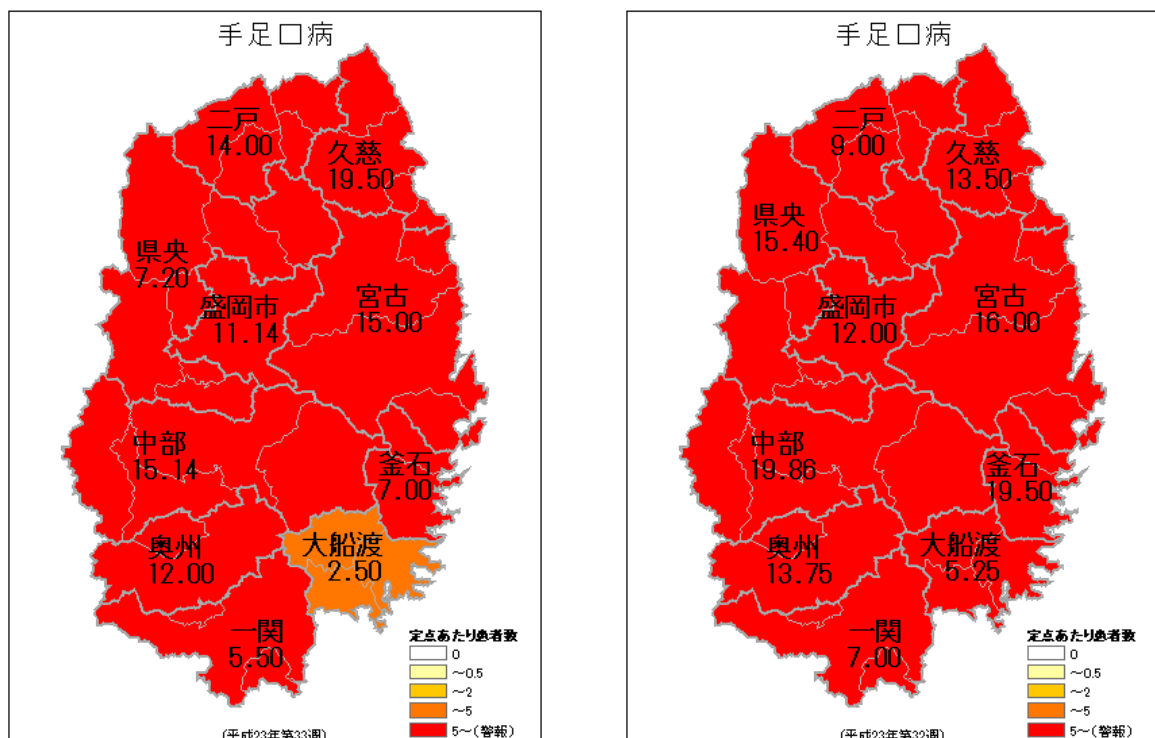
麻しんは、麻しんウイルスによっておこる感染症で、接触感染、飛沫感染、空気感染により感染します。感染力が非常に強く、避難所において問題になることがあります。震災後、県内での発生報告はありませんが、首都圏で報告数が増加しており、人の移動に伴う感染拡大に対する注意が必要です。予防には、ワクチン接種が有効であり、定期接種の対象の方(1歳児、年度内に6歳、13歳、18歳になる方)には早めの接種をお勧めします。

○破傷風

破傷風は、土壌中の破傷風菌が傷口から体内に入り増殖し、毒素を産生することにより、神経障害を起します。がれきの撤去作業は傷を負う危険性が高く、傷が原因で破傷風を発症することがあります。復興作業時に、傷を負わないよう注意が必要です。

手足口病

手足口病は、乳幼児を中心に夏期に流行するウイルス性感染症で、主な症状は、口腔粘膜、手、足などに現れる水疱性の発疹です。通常、数日で回復しますが、まれに髄膜炎を起こすことがあるので頭痛、嘔吐を併発した場合は、早期の受診が必要です。本年は全国的に患者報告数が多くなっており、本県でもほぼ全域に渡って流行がみられています。第33週の定点あたり患者数は10.65人と警報値(5人)を大きく超えています。



手足口病、定点あたり患者数、地区別、左：第33週、右：第32週

## 病原体検出情報

- ・手足口病の患者の咽頭ぬぐい液から、A群コクサッキーウイルス16型を4件検出しました。
- ・手足口病の患者の咽頭ぬぐい液から、A群コクサッキーウイルス16型を1件分離しました。
- ・手足口病の患者の咽頭ぬぐい液から、A群コクサッキーウイルス10型を1件検出しました。
- ・手足口病の患者の咽頭ぬぐい液から、ライノウイルスを1件検出しました。
- ・ヘルパンギーナの患者の咽頭ぬぐい液から、A群コクサッキーウイルス10型を3件検出しました。
- ・ヘルペス感染症の患者の咽頭ぬぐい液から、単純ヘルペスウイルス1型を1件検出しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜ぬぐい液から、A群コクサッキーウイルス16型およびアデノウイルス8型を1件ずつ検出しました。
- ・感染性胃腸炎およびヘルパンギーナの患者の糞便から、A群コクサッキーウイルス10型およびアデノウイルス41型を1件ずつ分離しました。
- ・慢性気管支炎および慢性肝炎の患者の咽頭ぬぐい液から、A群コクサッキーウイルス16型およびアデノウイルス41型を1件ずつ分離しました。

## 集団感染情報

- ・この週には集団感染情報はありません。

## 医療機関からの情報

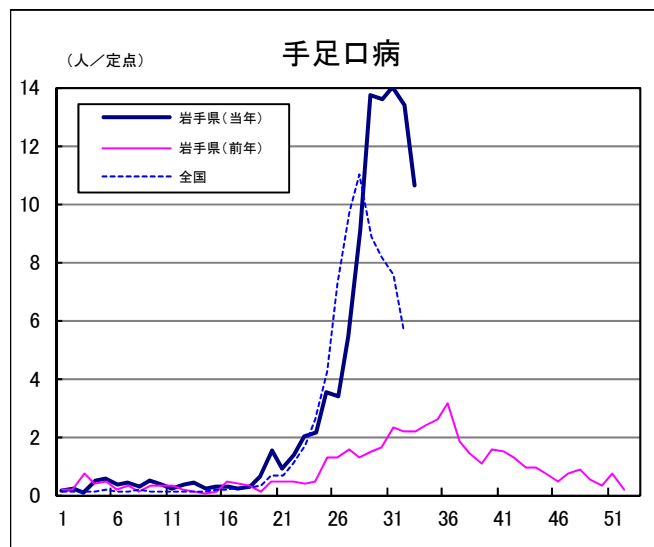
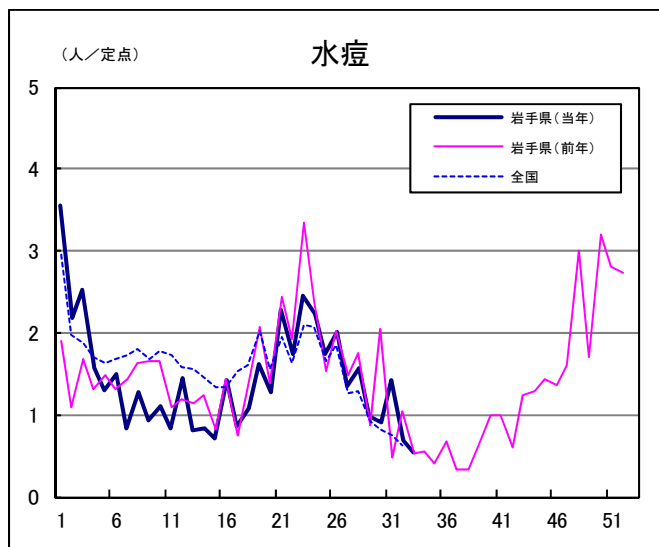
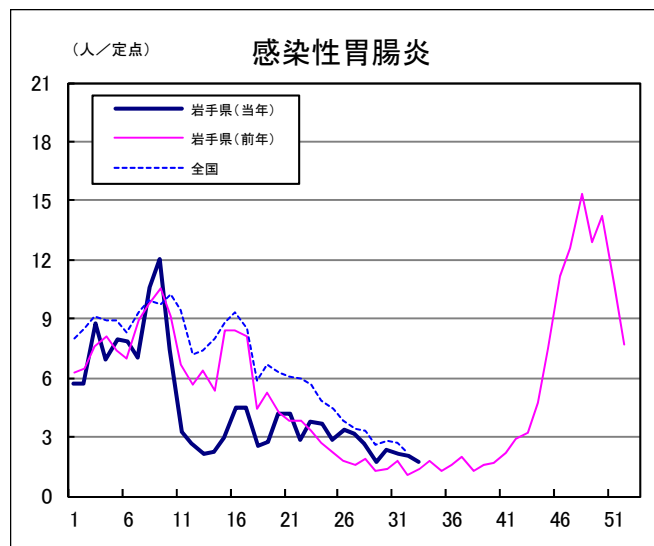
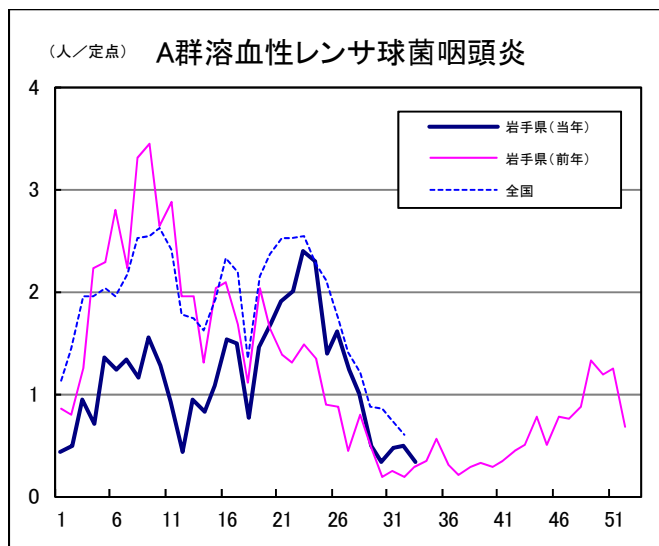
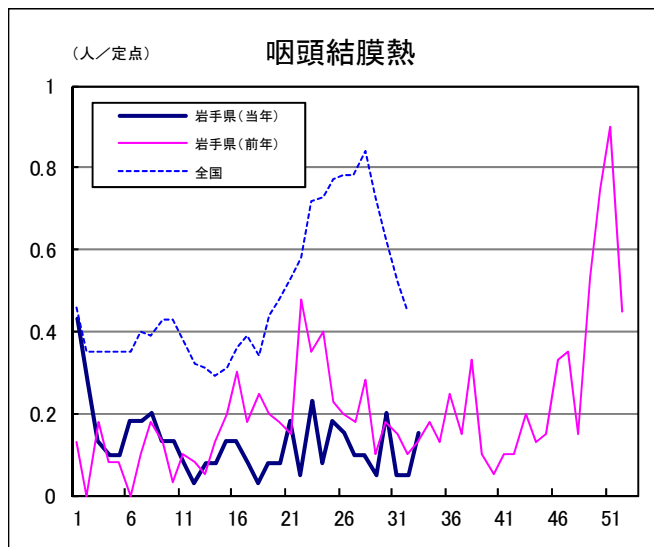
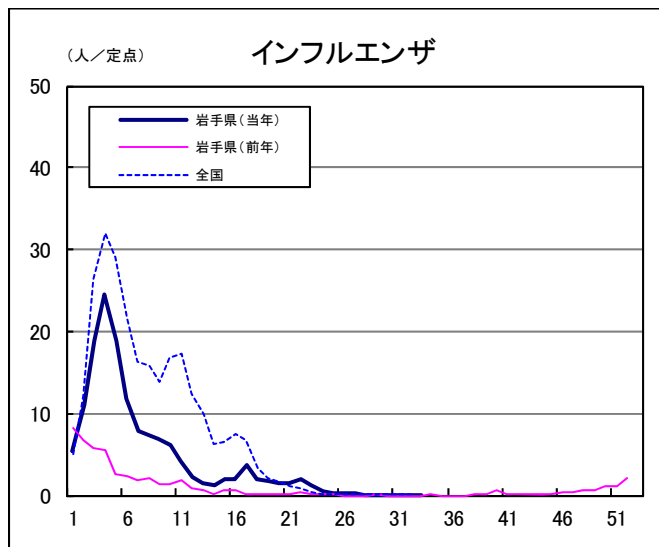
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

## Q & A

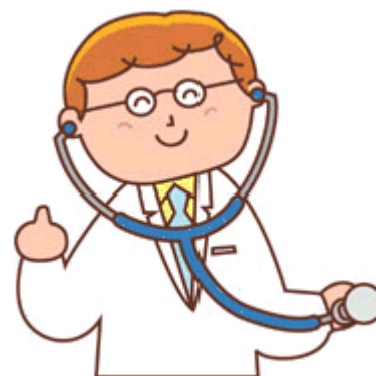
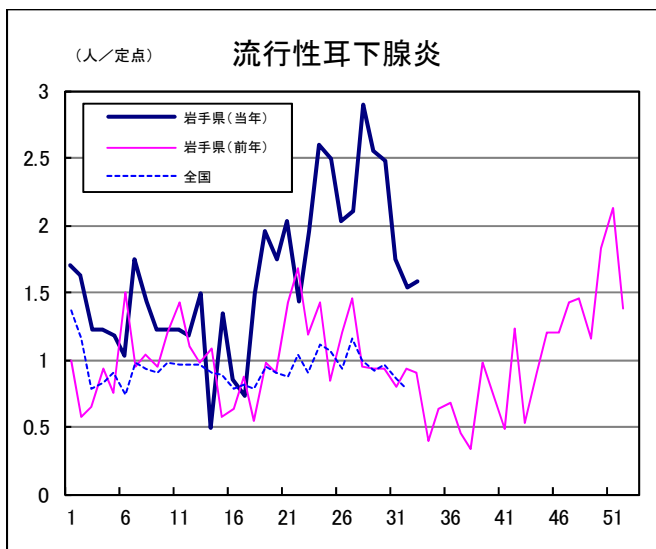
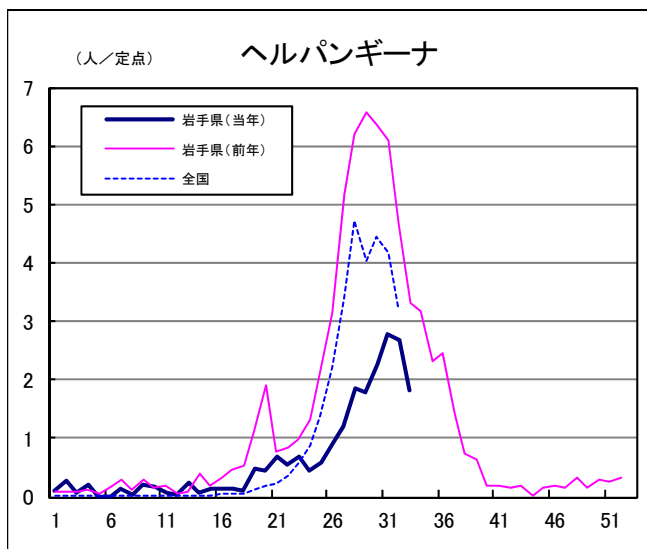
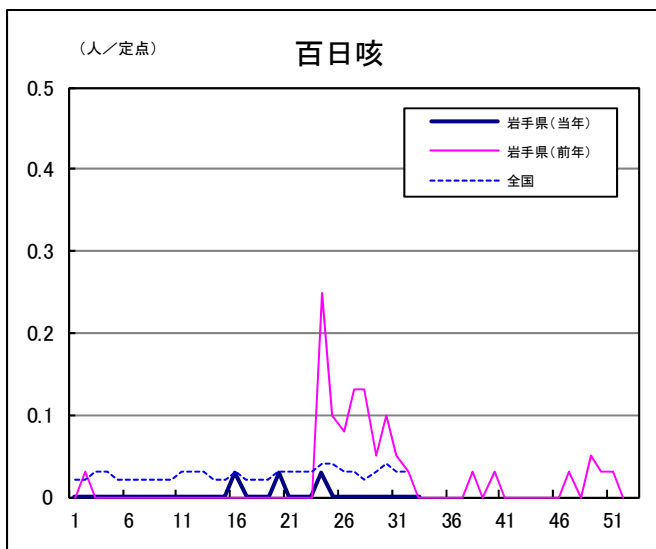
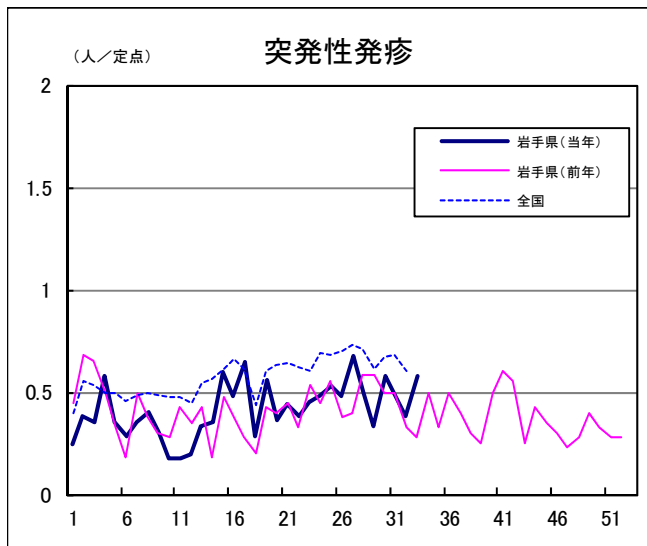
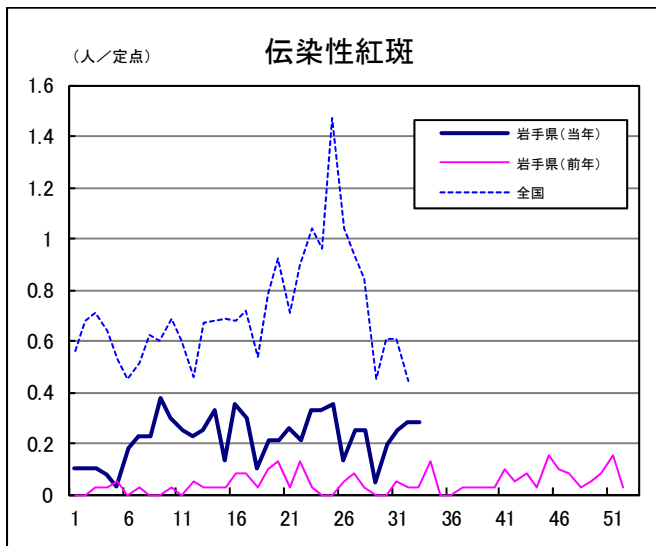
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県感染症情報センター (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)  
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667  
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

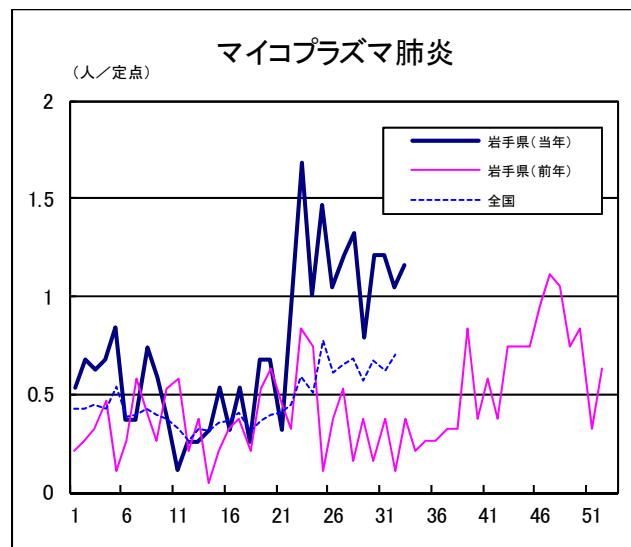
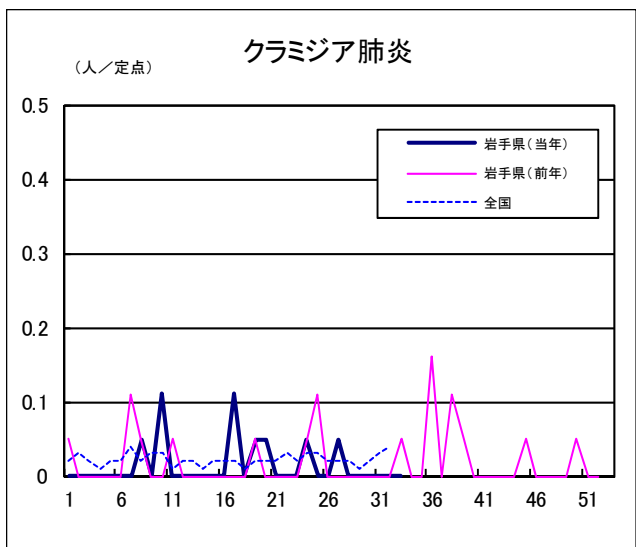
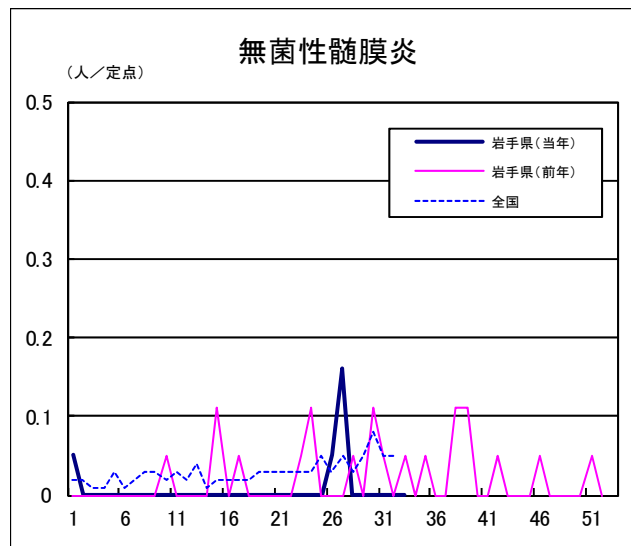
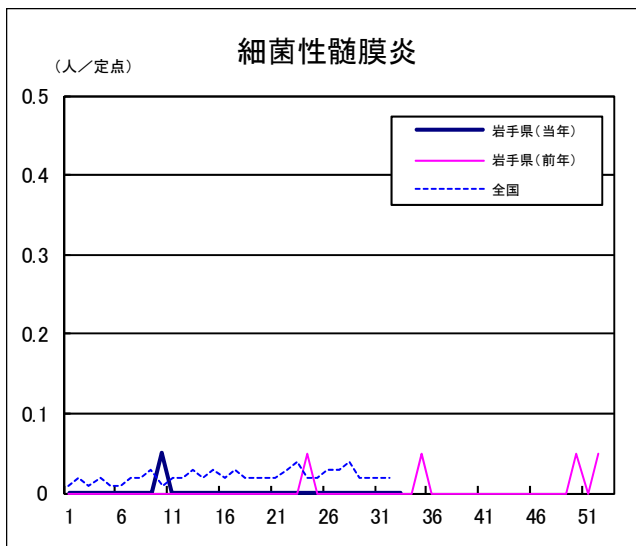
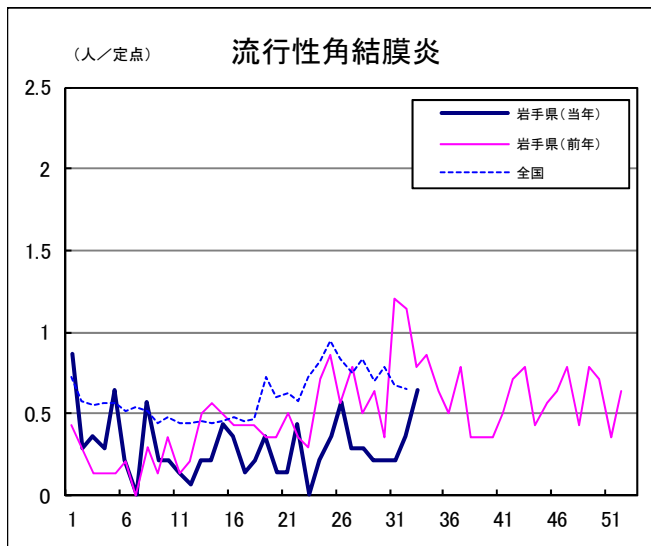
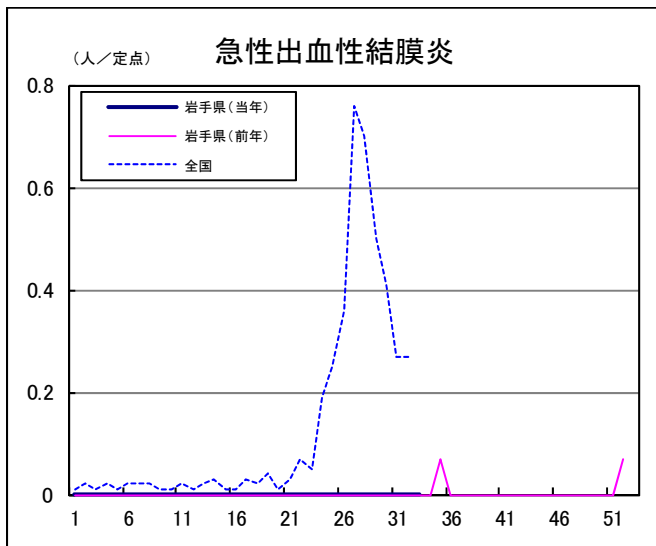
疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)











定点医療機関の数

地区	定点種別 インフルエンザ	小児科定 点	眼科定 点	基幹定 点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
花巻	7	4	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成23年第33週 平成23年8月26日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部医療推進課

事務局：岩手県感染症情報センター

(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療推進課>